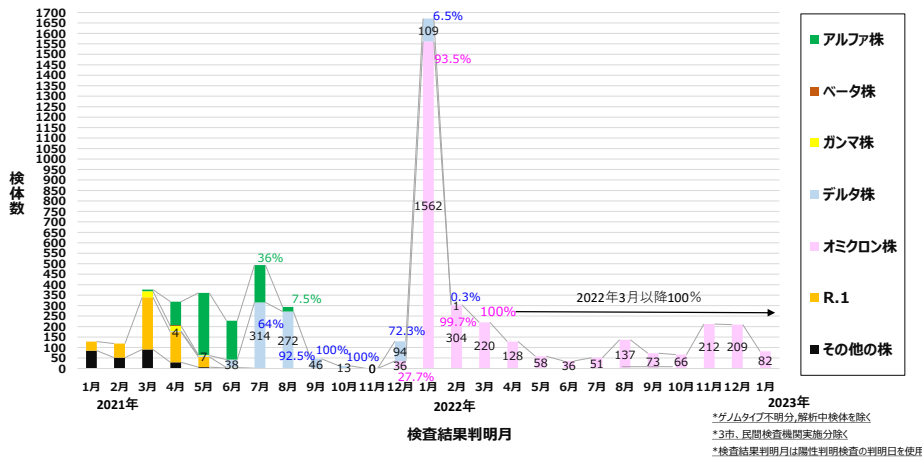


千葉県衛生研究所で実施したゲノム解析による新型コロナウイルス変異状況について

2023年2月8日

新型コロナウイルスの県衛生研究所把握分の検体（県衛生研究所で保健所等から収集した検体）において、2022年12月に検査陽性が判明した検体はすべて（209検体/209検体、100%）オミクロン株でした。また2023年1月に検査陽性が判明した検体についてもこれまで（2023年1月31日まで）のところ、すべて（82検体/82検体、100%）がオミクロン株となっています。2022年3月以降 COVID-19 陽性検体はすべてオミクロン株となっており、デルタ株や N501Y 変異陽性（アルファ株、ベータ株、ガンマ株）、E484K 単独変異株（R.1 等）、その他の株の検体は確認されていません。

【月別】2021年1月～2023年1月31日までのCOVID-19陽性検体の変異状況の推移(N=5,757)



【月別】2021年1月～2023年1月31日までに結果が判明したCOVID-19陽性検体の変異状況と割合

検査結果判明月	アルファ株 (B.1.1.7系統)		ベータ株 (B.1.351系統)		ガンマ株 (P.1系統)		デルタ株(B.1.617.2, AY.xx等 ※疑い含む)		オミクロン株(BA.X, BE, BF, XBB 系統)※疑い含む		R.1		その他の株(従来株等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
2021年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	43	34%	85	66%	128
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	67	56%	52	44%	119
3月	8	2.1%	0	0.0%	29	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	249	66%	91	24%	377
4月	113	35.4%	3	0.9%	25	7.8%	4	1.3%	0	0.0%	145	45%	29	9%	319
5月	296	82.0%	0	0.0%	3	0.8%	7	1.9%	0	0.0%	49	14%	6	2%	361
6月	186	81.6%	0	0.0%	0	0.0%	38	16.7%	0	0.0%	2	1%	2	1%	228
7月	179	36.2%	0	0.0%	0	0.0%	314	63.6%	0	0.0%	1	0%	0	0%	494
8月	22	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	272	92.5%	0	0.0%	0	0%	0	0%	294
9月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	46
10月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	13
11月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0
12月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	94	72.3%	36	27.7%	0	0%	0	0%	130
2022年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	109	6.5%	1562	93.5%	0	0%	0	0%	1671
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	304	99.7%	0	0%	305
3月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	220	100.0%	0	0%	220
4月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	128	100.0%	0	0%	128
5月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	58	100.0%	0	0%	58
6月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%	0	0%	36
7月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	51	100.0%	0	0%	51
8月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	137	100.0%	0	0%	137
9月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	73	100.0%	0	0%	73
10月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	66	100.0%	0	0%	66
11月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	212	100.0%	0	0%	212
12月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	209	100.0%	0	0%	209
2023年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	82	100.0%	0	0%	82
合計	804	14.0%	3	0.1%	57	1.0%	898	15.6%	3174	55.1%	556	9.7%	265	4.6%	5757

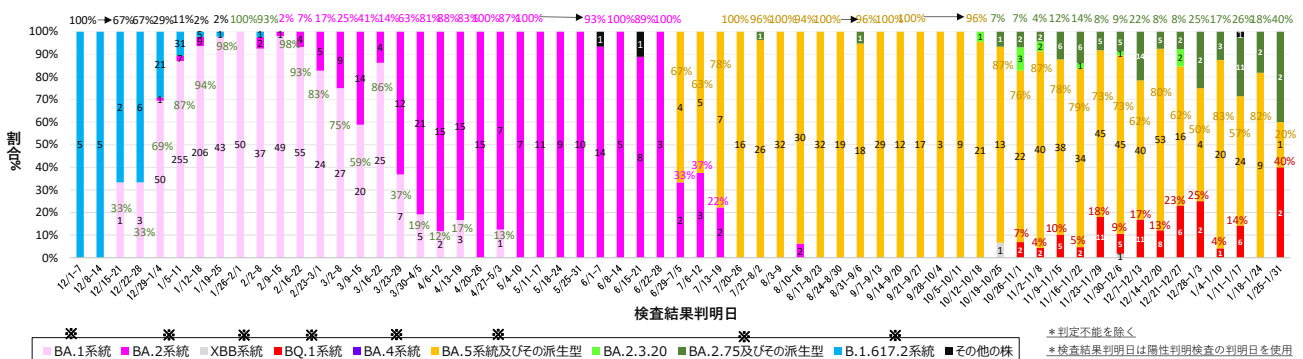
■2021年12月以降のSARS-CoV-2ゲノムタイプ別検出割合の推移（検査結果判明週ごと）

AY.29等のデルタ株の系統は2021年12月中旬以降に検査陽性が判明した検体中において検出割合が減少し、2022年2月2日-8日の週を最後に確認されていません。現在、県内陽性検体の全てを占めるオミクロン株の系統別ではBA.1系統（※以下注）が2021年12月中旬以降増加し、2022年2月中旬～下旬まで主流の系統でしたが、その後BA.2系統（※以下注）の検出割合が増加し始め、2022年3月末～4月頭には全体の8割以上を占めるようになり、2022年6月末までほぼ全てをBA.2系統が占めていました。2022年7月上旬からBA.5系統（※以下注）

の検出割合が急激に増加し、7月20日-26日の週以降、10月12日-18日の週まで全体の96%~100%を占めるようになり、ほぼ全ての陽性検体がBA.5系統に置き換わった状況となりました。10月19日-25日の週以降、BA.5系統の割合は徐々に低下傾向が見られ、直近4週間の平均値では全体の約60.5% (95%CI:13.4%-107.5%) となっていますが、依然として最も優位な状況です。

なおBA.5系統よりも感染力が強い可能性があると考えられるSARS-CoV-2の変異株BA.2.75系統（※派生型含む、以下注）やBA.5の亜種であるBQ.1系統（※以下注）の緩やかな増加傾向が見られており、直近4週間の平均値ではBA.2.75系統およびその派生型が約25.3% (95%CI:8.3%-42.2%)、BQ.1系統が約14.5% (95%CI:-14.1%-43.1%)程度の割合で検出されている状況です。また、アメリカ等で増加がみられているXBB.1.5系統について、現時点ではほとんど検出されておらず、増加傾向は認められていません。

2021年12月以降のSARS-CoV-2変異株系統別検出割合の推移(検査結果判明週別)



※BA.1系統：BA.1, BA.1.1, BA.1.1.2, BA.1.15等

※BA.2系統：BA.2, BA.2.10, BA.2.10.2, BA.2.24, BA.2.29, BA.2.3, BA.2.3.1, BA.2.18, BA.2.5, BS.1.x等 BA.2.3.20, BA.2.75.xを除く

※XBB系統：XBB.x等

※BQ.1系統：BQ.1, BQ.1.x等

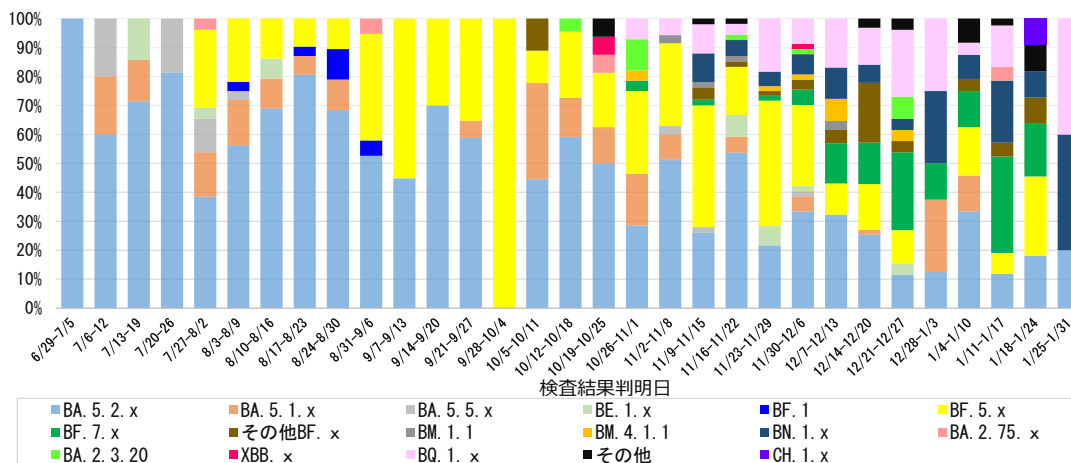
※BA.4系統：BA.4.6等

※BA.5系統：BA.5, BA.5.1.x, BA.5.2.x, BA.5.3.x, BA.5.5.x, BE.1.x, BF.x, CK.1.x等 BQ.1, BQ.1.xを除く

※BA.2.75及びその派生型：BA.2.75.x, BL.x, BM.1.1, BM.4.1.1, BN.1, BR.x, CH.1.x等

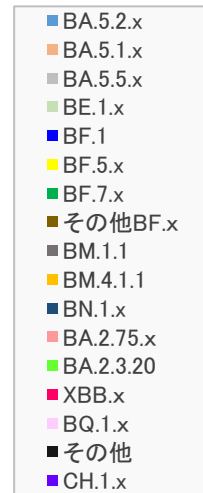
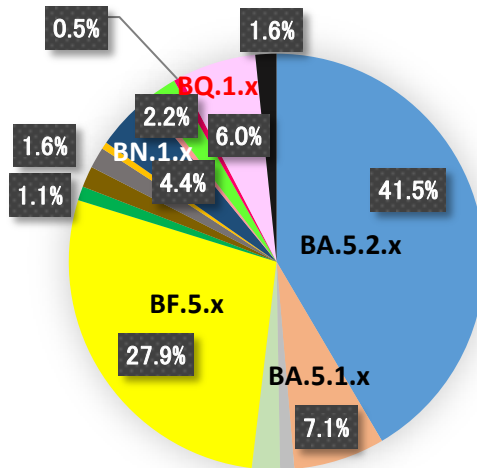
※B.1.617.2系統：B.1.617.2, AY.122.1, AY.29, AY.29.1等

◇参考1：BA.5等の系統別検出状況（検査結果判明週別）

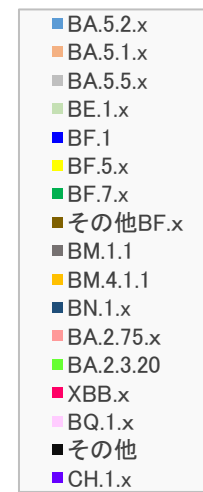
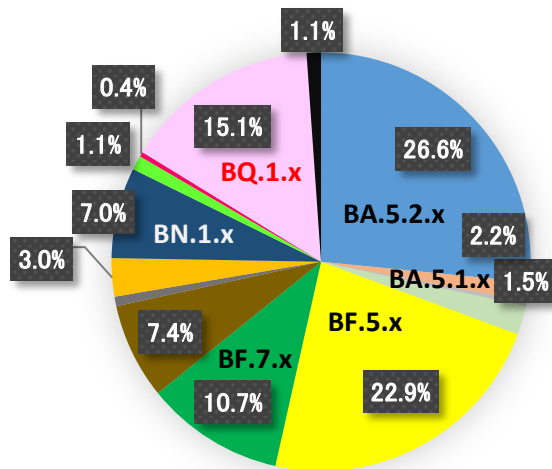


◇参考2：BA.5等の系統別検出状況の推移

2022/10/19-11/22 まで



2022/11/23-12/27 まで



2022/12/28-2023/1/31 まで

